

若竹

第六十六号



第十八回 慰問神楽 於 三津浜小学校(松山市)

愛媛県神道青年会

事務局 〒794-0036

愛媛県今治市通町 3-1-4

吹揚神社社務所内

TEL・FAX 0898-22-0369

URL <http://www.ehimeshinsei.net/>



愛媛県神道青年会

検索



巻頭言

新年度の御挨拶

愛媛県神道青年会

会長 十亀 雅史



先ず以て、謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げますと共に、各ご社頭のご隆昌を心よりお祈り申し上げます。

また、四月に起こりました熊本地震で死亡・けがになられた方々に対し、衷心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災されました皆さま方にお見舞い申し上げます。

この熊本・大分を中心とした地震。東日本大震災は遠方ということで、愛媛からの支援活動は義捐金活動にとどまっておりますが、この熊本地震の支援に關しましては、一日も早い復興の祈りを捧げ、四国内でも愛媛県は九州の隣ということもありま

すので、現地に行き人力での支援活動を展開していかなければならないと考えております。その際はご案内をいたしますので、多くの会員で支援に向かいたいと思います。ご協力を宜しくお願いします。

一期二年の会長職も今年度で満了を迎え、青年会の会員としても卒業年度を迎える年となりました。会長をさせていただきながら、私に何が出来るのかを考えつつ過ぎて参りましたが、昨年度の一年目は空回りが多かったように思います。そんな中、一年間会務を無事遂行できたのは、県内諸先輩方からの多くのご寄付、お力添えに依りますことと心から感謝申し上げます。ありがとうございます。先輩方からのお心を次に伝えていくべく、この一年をしつかりと歩んでいく所存でございますので変わらぬご指導を宜しくお願い申し上げます。

愛媛県神道青年会も来年度が再発足四十五周年の佳節を迎えることとなります。五年前の四十周年を事務局長として迎え様々な事業に取り組んで参りましたが、それから早五年が経とうとしています。しかしながら私は次の四十五周年の記念事業には卒会をしていることもあり、関わりを持てなくなるといことは会則の通りであ

ります。そこでまず、辞めていく役員が周年事業を決めていくのではなく、若い世代が中心となつて諸事考えていかなければならないと考え、定時総会において再発足四十五周年準備委員会の立ち上げを提案し承認を受け、活動させていただくこととなりました。委員長には現筆頭副会長の柳原永祥君。副委員長には善家・田窪副副会長が就き、現役員(次期卒会者除く)も含めながら委員を選出し、先輩方から受け継いできました愛媛県神道青年会を若い力で盛り上げて行きたいと思っています。なにとぞ、準備委員会の若いメンバーにもお力添えを宜しくお願いします。

尚、この準備委員会は今年度のみ活動とし、次年度の周年年度からは次期役員が実行に移すこととなっております。

しかしながら、この平成二十八年度は私の会長期であります。時局にも目を向け参議院議員選挙を始め憲法改正など、すぐに対応が出来るように関係団体との集まりにも積極的に参加し、会務に於いては、通年事業に併せ新規事業にもしつかり取り組み、先輩方が紡いでこられた縦の糸に我々会員の横の糸を固く結びながらこの大役を次に繋げていくべく、力を注いで参りたいと思っております。

本年度も宜しくお願い申し上げます。

第十八回 慰問神楽 松山市 三津浜小学校



【報告者】
愛媛県神道青年会 理事
徳川神社
榎 宜 武智 和剛

去る一月二十八日、松山市梅田町の三津浜小学校にて、第十八回慰問神楽が開催されました。今回は初めての小学校開催で、音楽の授業の一環で行われ、四、五、六年生の総勢百十四名の児童が観覧し、保護者の方々にもお越し戴きました。

開会の徳本校長先生と十亀会長の挨拶に続き、演目に先立ち、先ず始めに雅楽の演奏に合わせ、児童全員で「国歌斉唱」をしました。最初は皆、雅楽の音色と装束の直垂を著装した私達を目の前に緊張していたのか、あまり声が出ていませんでしたが、徐々に大きな声が出るようになりました。次に「浦安の舞」の鈴舞を伊豫豆比古命神社の巫女さんが披露し、美しく華麗な舞に児童達は目を見開いていました。次に雅楽の代表的な



伊豫豆比古命神社巫女による「浦安の舞」

「越殿楽」を六種類の楽器で演奏、次の「楽器紹介」では、司会進行役の十亀会長の雅楽の歴史を交えた分かりやすい紹介に、メモを取る児童も見られ、熱心さがもの凄く伝わってきました。そして続いているの楽器体験では、直接児童達が雅楽器に触れ、吹物の笙・箏・龍笛の指使いを学び、息を入れて音出しにも挑戦し、音が鳴った時には嬉しそうな表情をしていて、また打物の鞆鼓・太鼓・鉦鼓では、ただ打つだけだと思っていたようですが、実際に打ってみると力加減が難しそうです。次に伊豫神楽「神鉢鉦女之舞」では、太鼓と小太鼓の絶妙なリズムに合わせ、岩戸の前で大神を和め、いさめて天下泰平を祈る妖艶な舞に驚いた様子でした。



雅楽器に興味津々の小学生

閉会の挨拶では、徳本校長先生から現在よく使う打ち合せと言う言葉が雅楽の打物が語源になっていることや「日本は神の国で、日本人は昔から心の中に神様を常に意識してきて、今日の演奏会はそれを改めて感じさせて戴き、また古いものにこそ真の美しさがあり、厳かで静

かさの中に、力強さを感じました」と述べられました。閉会後は、先生方と児童達と集合写真を撮り、児童から握手を求められ、「ありがとうございました」と御礼を言う児童もいた。和やかな雰囲気です。



伊豫神楽「神鉢鉦女之舞」

今回は報道各社にも取り上げられ、「神鉢鉦女之舞を舞っている人が、女の人だと思っていたけど、男の人だと聞いてビックリした」もう少し歴史を勉強してみたい」など感想を戴き、普段あまり目にするものの無い雅楽・舞・神楽を通して、少しでも日本の伝統文化に興味を持って、日本人であることを誇りに思う人間に成長してほしいと心から思いました。

最後に、今回の慰問神楽の開催に当たり、快くご協力戴きました三津浜小学校の徳本校長先生、音楽担当の今城先生をはじめ各先生方、また忙しい時期にも関わらずご奉仕戴きました伊豫神楽、巫女さん、会員の皆様には厚く御礼申し上げます。



最後に参加者全員で記念撮影

今年の観月神楽は日招八幡大神社（松山市）に決定！
雅楽できる方もできない方も始めたい方も大歓迎！！ぜひ参加してみませんか？

新年研修会・互礼会



【報告者】
高縄神社
柳宜 正岡 重則

去る一月二十八日、国際ホテル松山に於きまして新年研修会並びに新年互礼会が開催されました。

本館二階「ルビーの間」で執り行われた新年研修会では、我々青年神職の先輩でもあります、神道政治連盟愛媛県本部長、愛媛県神社庁副庁長、三津厳島神社宮司、柳原幸先生より「憲法改正に向けた我々の覚悟」という演題で御講義を賜りました。講義では、なぜ今「憲法改正」が必要なのか、を議題に



十亀会長以下役員で新年正式参拝

私達青年神職会員に配布いただいた神道政治連盟発行冊子「誇りある日本をめざして」を出席者全員が順次朗読していただきました。柳原先生から改



柳原先生による講義

大変貴重な時間が持てました。

研修会の後は、引き続き同ホテル南館三階伊豫の間に於きまして新年互礼会が開催されました。愛媛県神社庁長 十亀興美様を始め、多数の御来賓、諸先輩方の御出席を賜り和やかに懇親を深めました。

最後になりましたが、柳原幸先生、我々青年神職の為にご多用の中、御講義賜り有難うございました。御礼申し上げます。



多くのご来賓の皆様にご来賓賜り、和やかな会であった



神道青年全国協議会 第六十八回定例総会



【報告者】
愛媛県神道青年会 副会長
厳島神社
柳宜 柳原 永祥

四月二十六日、神社本庁に全国から百二名の同志が集い、当会の十亀会長が議長となり議案が審議されました。

例年通りの会務・決算報告、事業・予算案に加え、十数年ぶりに単位会提出議案があり、福島県より「災害慰霊祭奉奏祭祀舞についての件」が提出され承認されました。これにより新たに災害慰霊祭に奉奏される祭祀舞がつくられることとなりました。

総会では私も神青協ホームページについて平成二十四年度から活動報告が止まっていたことを意



議長の大役を務める当会十亀会長

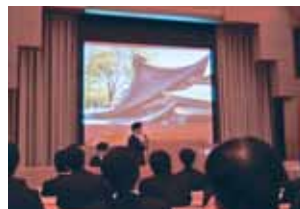
見させてもらい、古いシステムで対応が出来てないことや今年度になりリニューアルする回答を頂き、充実した会議となりました。

憲法改正はいよいよ正念場！なぜ改正が必要なのか理解し、広めましょう。
一人一人の力が大きな波となります！

天の恵みを存分に受けている日本では地震被害は免れません。他人事とは思わず今できる対策をしなければならぬと感じました。



れている熊本神青の内村会長より報告があり、震災前後の画像を使用し、分かり易く解説して頂きました。阿蘇神社に関しては十四日の地震では何の被害もなかったにも関わらず十六日の本震で楼門等が倒壊したそうです。造りも古く頭の大きな楼門の被害は予測していたそうですが、拝殿の倒壊は想定外で、職員一同悲痛な思いをされたそうです。阿蘇地方では平成二十四年から豪雨による水害、阿蘇山噴火、今回の地震と天災が続いており、寄付をお願いするのも大変な状況とのことでした。



熊本地震における被害状況報告

その後、熊本地震対策会議が行われ、熊本・大分県を中心に九州地区百四十七件の神社の被害報告や、被災地現状報告では大変な時期にもかかわらず上京された阿蘇神社に奉職さ

第四十五回定時総会報告



【報告者】
伊佐爾波神社
欄 宜 野口 貴令

四月二十日(水)国際ホテル松山に於いて、十亀雅史会長以下二十二名の会員出席のもと第四十五回定時総会が開催されました。

開催に先立ち、今年亡くなられた当会OBと熊本地震にて亡くなられた方に対して哀悼の意を表し黙祷を捧げました。

十亀雅史会長の挨拶の後、議長が選出され議案審議に入り、平成二十七年会務報告・会計報告・監査報告、平成二十八年度活動計画案・予算案の報告が行われました。また、平成二十九年度から始まる再発足



定時総会で挨拶する十亀会長

四十五周年に向けて準備委員会を立ち上げる報告があり、こちらも含めて全ての議案に於いて、異議無く承認され、滞りなく閉会されました。閉会后、同ホテルにて井上副庁長



懇親会も盛会裏に終わった

を始め、神社庁役員の皆様や青年会OBの先輩方にもご出席を賜り懇親会が開かれました。先輩方と杯を交わしながら、これまでの取り組みやこれからの活動について語り合うことができたのは有り難いことでした。

また、懇親会の中では新入会員二名と初参加の会員一名の紹介もありました。

これからも神道青年会では年間を通して、研修会や互礼会等の様々な活動が予定されています。また、平成二十九年度から始まる再発足四十五周年に向けても準備をしていきます。今まで青年会の活動に参加された事の無い会員の方も機会がありましたら奮って御参加ください。心よりお待ちしております。



定時総会出席者で記念撮影

熊本地震復興支援についても今後情報提供して参ります。
ご協力宜しくお願い申し上げます。

平成二十七年 度 神青協神宮研修会



【報告者】
愛媛県神道青年会 監事
八幡神社 清家 貞文

毎年三月に開催される中央研修会。此度は三月十六・十七日、伊勢の神宮で開催されました。これは青年神職が十年に一度初心にかえり、白衣・白袴姿で伊勢の神域で研修するものです。全国から約二五〇名が参加しました。

主題は『神代在今く神宮の尊さ、美しさを守り伝える』

第一講は神宮権禰宜・吉川竜実先生による「神宮のおまつりく神代在今く」ソウルオブジャパン、(特に外国人に対して)神道は我が国固有の信仰であり、そのことを強く発信していかなければならない、というご講義を賜りました。

第二講は神宮技監・営林部長・笹岡哲也先生による「神宮宮域林について」伊勢市の約四分の一を占める神宮宮域林の歴史や現在の取り組みをご紹介いただきました。



吉川竜実先生

神宮での研修会では禁酒禁煙という噂もありましたが、神宮会館内での和やかな懇親会でした。



笹岡哲也先生

二日目は六つに分かれての分科会でした。

第一分科会：覚 御饗都神の御神徳
第二分科会：頌 天下漏れおつることなく
第三分科会：匠 唯一神明造りを支える心と技

第四分科会：伝 神宮と式年遷宮

第五分科会：繋 未来の御遷宮に向けて

第六分科会：迎 伊勢の神領民の取り組み

私は第六分科会でしたが、行政、観光協会、そして神宮司庁(広報活動)の御遷宮への取り組みや連携、そして次の御遷宮に向けてのパネルディスカッションが行われ、参加数増加に至るまでの苦労や裏話など、貴重な話を拝聴できました。



参加者での早朝参拝

また他の分科会もそれぞれ減多に出ない経験や充実した時間を過ごせたと聞き及んでおります。

分科会は恐らく初めての試みだったと思いますが、三重県

神道青年全国協議会 研修会の御案内

中央研修会 御案内		夏期セミナー 御案内	
日時	平成二十九年 三月 二十二日(水・友引) 二十三日(木・先負)	日時	平成二十八年 八月 二十九日(月・先負) 三十日(火・仏滅)
会場	広島県青年神職会	会場	神社本庁
担当	「夏期セミナー」「中央研修会」共に、全国の同志と出会い、著名な先生方の貴重なお話が拝聴できるまたとない機会です。	詳細	詳細につきましては後日改めてHP等で御案内致します。ぜひご参加下さい。

神道青年会の皆様はじめ、準備にご尽力頂いた方々のお蔭で参加した甲斐があったと感じました。改めて感謝申し上げます。

来年は中国地区・広島県です。愛媛からすると海を挟んでの隣県です。一人でも多くの会員の皆様で共に参加しましょう。



清家監事も参加した第六分科会の様子

夏期セミナー、中央研修会は著名な先生よりお話を聞ける貴重な機会です。会員なら参加出来ますので、ぜひ参加しましょう！

会員交流親睦会 in 南予



【報告者】

愛媛県神道青年会 理事
伊豫豆比古命神社
権欄宜 渡邊 平

去る三月十日、大洲市内にて南予地区親睦交流会が行われました。

アクアボウルにて十亀会長の始球式から始まり、二組に別れ十名で一ゲームを競いました。

会場を変えて行われた親睦会では参加人数も十二名と増え、酒を酌み交わしながら有意義な時間が過ごせたのではないかと思います。

昨年度は、九月に東予地区、十一月に中予地区、そして前記にあるように三月に南予地区と各地区におきまして親睦交流会を実施したところ大人数とはなりませんでした。が会員同士懇親が深めることができました。

今年度も引き続き、今期の目標の一つ「各事業への会員参加増」に向けて、会員の皆様



ハイレベルな(!?)白熱した戦い

会員研修会 (祭式) 今年も開催予定です!



テーマ 「基本作法と奉幣行事」

一昨年、ご好評をいただきました祭式の会員研修会。皆様からぜひ次回も開催してほしいというご要望をいただき、今年度も会員研修会として、祭式研修会を開催する予定です。

今回は基本作法のおさらいとともに「奉幣行事」を学びます。愛媛県内では行う機会が多いのではないのでしょうか? 例祭等の祭典や、地域によっては神輿渡御などでも行い、所役をすることもあれば奉幣司をする機会もあるかと思えます。

でも、この作法、正しいのかな? と思いながらご奉仕されている方も少なくないと思います。安心して下さい! 研修会では全員で一から作法を学びます。

今回の研修会も講師の先生方のご協力により、皆様に参加しやすいように金土日での開催を予定しております。

日時、場所等詳細は近日中に愛媛神青ホームページ等で発表予定です。また、会員の皆様には連絡担当役員より電話等でもご案内させていただきます。

会員の方なら男女問わず参加可能です。この機会に一緒に基本から勉強しましょう!

が多く参加出来る企画を親睦交流会で戴いた意見も踏まえて役員一同検討しております。公私共に御多忙とは存じますが宜しくお願い致します。



参加者同士の懇親がとても深まった

お問い合わせ先

愛媛県神道青年会
事務局
(吹揚神社内)

TEL・FAX
0898-22-0369

※ 連絡担当役員にお
問い合わせいた
だいても結構です。

それ行け！二足のわらじ

兼職会員インタビュー



File.05

高家八幡神社(松山市)
権瀬宜

職種

都子野

真理子さん
中学校教諭

—今回このコーナーに、初めて女性会員の方に取材させていただくこととなりました。都子野さんは学校の先生をされているとお伺いしました。

都子野(以下都)はい。現在は松山市立余土中学校に勤務しています。

—学校の先生をされている方は神社界でも結構いらつしゃいますが、教員になられる時に神社と両立させることも考えられたのでしょうか？

都 いいえ。元々私は神社関係とは無縁でして、主人と結婚したことによって神職の家に嫁ぐことになったのです。

—そうだったのですね！では、ご結婚されてから神職資格を取得されたのでしょうか？

都 そうですね。結婚してからしばらくは神職としてはなく、日々の掃除や祭典の準備手伝いなどをしていました。しかし、祭典奉仕も出来るようにと思い、二年程前

に資格を取得しました。

—学校の先生は毎日大変かと思いますが、神職との時間のやりくりはどのようにされていますか？

都 やはり平日は学校がありますので、そちらに勤務となります。神社のことは土日がメインです。境内の掃除などをしていきますよ。主人もいますので、祭典奉仕が必要なときはご奉仕もしています。あとは家事もありますね。

—二足と言わず三足のわらじですね！ご結婚を機に神社に関わることになったということでしたが、都子野さん自身ご結婚以前と特に大きく変わったことは何でしょうか？

都 そうですねえ、色々ありますが、まず氏子さんとの関わりでしょうか。結婚前は近所づきあいなんてそうありませんでしたが、結婚して氏子さんとの関わりができ、日々お宮を一緒に守ってもらっていることをとても有り難く思います。たくさんの方々の支えがあるからこそ私たちも日々過ごせるのだな。



教壇に立つ都子野さん

—確かにその通りで、氏子さんの支えがあつてこそですね。ところで、学校では主に担当されている教科は何でしょうか？

都 国語です。

—ということは、祝詞は得意？

都 いえいえ(笑)でも大体の意味は分かります。

—神職としても活かされていますね。最後に、神職になつてから、教員としての都子野さんの考え方などに影響を及ぼしたことはありましたか？

都 国語の教員だからと言つものもあるのかも知れませんが、「言霊」というものをより意識するようになりました。生徒等へかける言葉にもより気をつけています。また、神職としてはまだこれからですが、今後神職の立場から、教職に就く者として何ができるのか考えたりもしています。

—双方の視点から先を見据えていらつしゃいますね！今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。本日はありがとうございました。

《取材 後藤 正幸》



娘さんたちと一緒に

「二足のわらじ」に取り上げて欲しい兼職の会員の方、只今募集中です。
男女不問、自薦・他薦問いません！情報をお寄せ下さい。

平成二十七年 会務報告

平成二十七年

起 平成二十七年 四月 一日
至 平成二十八年 三月三十一日

四月 三日

平成二十六年年度会計監査会
(清家会長以下六名出席)

【伊豫豆比古命神社】

四月 十四日

第一回 役員会
(十亀会長以下九名出席)

【吹揚神社】

四月 二十三日

神道青年全国協議会 第六十七回定例総会
(十亀会長以下二名出席)

【神社本庁】

四月 二十四日

救う会愛媛役員会
(善家副会長代理出席)

【愛媛県水産会館】

五月 十六日

四国四県神社庁祭式講師研究会
(十亀会長以下十二名出席)

【国際ホテル松山】

五月 三十日

第二回 役員会
(十亀会長以下十二名出席)

【国際ホテル松山】

全 全

第四十四回 定時総会
(十亀会長以下二十三名出席)

【全】

全 全

懇親会
(十亀会長以下二十三名出席)

【全】

六月 一日

《柳原副庁長以下御来賓九名出席》
《十亀会長以下二十三名出席》
会報「若竹」第六十四号「発刊
神道青年四国地区協議会
設立二十周年奉告祭」

【香川県神社庁】

六月 九日

(柳原副会長以下四名参列)
神道青年四国地区協議会第一回役員会
(十亀会長以下六名出席)

【全】

六月 十二日

日本会議愛媛県本部総会
(十亀会長出席)

【国際ホテル松山】

六月 二十一日

第三回 役員会
(十亀会長以下十二名出席)

【八幡神社】

六月 二十三日

愛媛県神社庁 定例協議員会
(十亀会長出席)

【愛媛県神社庁】

六月 二十九日

愛媛拉致協議連映画上映及び記念講演
(田窪副会長出席)

【国際ホテル松山】

七月 六日

愛媛県女子神職会総会
(善家副会長代理出席)

【愛媛県神社庁】

七月 十四日

第四回 役員会
(十亀会長以下十名出席)

【厳島神社】

八月 十日

第五回 役員会
(十亀会長以下十名出席)

【石鐘神社】

八月 十一日

神道青年四国地区協議会

第二十一回定例総会
(十亀会長以下十八名出席)

【みゆき会館】

神道青年四国地区協議会設立二十周年
記念式典・記念講演・祝賀会
【記念式典】

【松山全日空ホテル】

《十亀庁長以下御来賓四十五名御出席》
(十亀会長以下二十四名出席)

【記念講演】

題目 これからの地域とまちづくり
講師 愛媛大学法文学部総合政策学科准教授
米田 誠司 先生

《十亀庁長以下御来賓三十七名御出席》
(十亀会長以下二十四名出席)

【祝賀会】

《十亀庁長以下御来賓四十四名御出席》
(十亀会長以下二十一名出席)

第七十回終戦記念日祭
(参列九名 祭員・伶人奉仕五名)

【愛媛縣護國神社】

日本会議愛媛県本部運営委員会
(十亀会長出席)

【愛媛銀行研修所会議室】

神道青年全国協議会 夏期セミナー
《今、伝えるべき日本人の心》
《戦後七十年に想道義国家への布石》

【神社本庁】

第一講 「日本を取り戻す教育」
講師 明星大学 教授
高橋 史朗 先生

第二講 「戦後七十年」と道徳教育の再生
講師 武蔵野大学 教授
貝塚 茂樹 先生

第三講 「靖國の心と戦後七十年」
講師 靖國神社 権宮司
小方 孝次 先生

(十亀会長以下二名出席)

神道青年四国地区協議会設立二十周年記念事業
第十八回神道行法錬成会
(十亀会長以下五名出席)

神道青年四国地区協議会
第二回 役員会
(十亀会長以下六名出席)

【高知県 八幡宮】

神道青年四国地区協議会設立二十周年記念事業
「東日本震災」福島県被災地復興支援並びに視察
第一日目 いわき市(富岡駅・諏訪神社)視察
南相馬市(旧警戒区域・小高地区)視察

【黒潮ホテル】

第二日目 双葉町 八幡神社・諏訪神社 作業

神道青年四国地区協議会

神道青年四国地区協議会

神道青年四国地区協議会

神道青年四国地区協議会

昨年度は四国地区協設立二十周年記念式典をはじめ諸事業にご協力を賜り、
厚く御礼申し上げます。

十八日	全	（柳原副会長以下九名出席） 参拝啓発ボスター発送作業 （十亀会長以下九名出席） 第六回 役員会 （十亀会長以下九名出席） 東予地区親睦交流会 ボウリング 親睦会 （十亀会長以下十名出席） 第三十三回親月神楽 （十亀会長以下十四名出席） 大東亜戦争終結七十年臨時大祭 並びに秋季慰霊大祭 （十亀会長以下一名奉仕） 第二十一回全国戦歿學徒追悼祭 （十亀会長出席） 第七回 役員会 （十亀会長以下十三名出席） 建国記念の日奉祝愛媛県実行委員会 平成二十七年年度総会 （十亀会長出席） 三島森田両烈士追悼四十五周年慰霊祭 （善家副会長以下八名奉仕・十亀会長以下参列者二十七日名） 中予地区親睦交流会 （十亀会長以下十六名出席） 第八回 役員会 （十亀会長以下十一名出席） 神道青年四国地区協議会 周年記念誌編集委員会 （柳原副会長以下三名出席） 第三回 役員会 （十亀会長以下六名出席） 神道青年四国地区協議会設立二十周年記念 親睦ボウリング大会 （十亀会長以下六名出席） 北朝鮮拉致被害者救出パレード （十亀会長以下五名出席）	【石鎚神社】 【西条市 「ナムコランド西条店ワンダーランド」 「魚民西条駅前店」 【石鎚神社】 【白王神社】 【愛媛縣護國神社】 【若人の広場】 【愛媛縣護國神社】 【国際ホテル松山】 【愛媛縣護國神社】 【伊豫豆比古命神社】 【徳島ワシントンホテルプラザ】 【ラウンドワン徳島万代店】 【坊ちゃん広場・大街道】
二十一日	全		
二十七日	全		
十月	全		
二十一日	全		
二十一日	全		
二十五日	全		
十二月 二日	全		
三十日	全		
十九日	全		
全	全		
十九日	全		
一月 二日	全		
一月 二日	全		

全	全	全	二月 七日	三月 八日	四月 十三日
〔愛媛縣護國神社〕	〔國際ホテル松山 離宮西の間〕	〔全 ルビーの間〕	〔フィリピン〕	〔香川県神社庁〕	〔東雲神社〕
年頭正式参拝					
〔十亀会長以下八名参拝〕					
第九回 役員会					
〔十亀会長以下九名出席〕					
新年研修会					
演題「憲法改正に向けた我々の覚悟」					
講師 神道政治連盟 愛媛県本部長 柳原 宰 先生					
〔十亀会長以下十五名出席〕					
《十亀庁長以下御来賓十五名御出席》					
〔十亀会長以下二十四名出席〕					
神道政治連盟第二十回海外研修 並びに第十四回時局対策連絡会議 〔善家副会長出席〕					
神道青年四国地区協議会 周年記念誌編集委員会					
〔十亀会長以下五名出席〕					
神道青年四国地区協議会					
〔十亀会長以下六名出席〕					
南予地区親睦交流会					
ボウリング					
〔十亀会長以下十名出席〕					
懇親会					
〔十亀会長以下十二名出席〕					
神道青年全国協議会 神宮研修会					
『神代在今 』神宮の尊さ、美しさを守り伝える』					
《第一講》『神宮の祭儀について』					
講師 神宮 権欄宜 祭儀部儀式課長 吉川 竜実 先生					
《第二講》『神宮宮域林について』					
講師 神宮技監 宮林部長 笹岡 哲也 先生					
《内宮夜間参拝》					
分科会施設見学					
第一分科会 第六分科会					
〔十亀会長以下二名出席〕					
第十回 役員会					
〔十亀会長以下九名出席〕					
会計監査会					
〔十亀会長以下五名出席〕					
〔嚴島神社〕					
〔豊しま〕					
〔大洲市〕					
〔アカアボウル〕					
〔油屋〕					
〔神宮〕					
〔二日目〕					
十六日 十七日					
〔二日目〕					
二十九日					
四月 十三日					

昨年度は会員親睦会を開催しましたが、今年度は祭式研修を開催予定です！
みんなで祭式を一から勉強！一緒に恥をかき、汗をかき、ともに学びましょう！

愛媛県神道青年会 平成27年度一般会計歳入歳出決算書

自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日

歳入の部

単位：円

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	700,000	747,000	47,000	年会費・定時総会々費・会員研修会々費・新年互礼会々費
2 助 成 金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄 付 金	1,300,000	2,149,000	849,000	県内神職寄付金
4 雑 収 入	6,479	0	△ 6,479	
5 繰 越 金	733,521	733,521	0	平成26年度より
歳入合計	2,940,000	3,829,521	889,521	

歳出の部

単位：円

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△減)	付 記
1 会 議 費	700,000	646,560	△ 53,440	定時総会・役員会・新年互礼会・地区協役員会・監査会他
2 研 修 教 化	900,000	549,607	△ 350,393	親月神楽・慰問神楽・新年研修会・各種研修参加助成他
3 事 業 費	200,000	164,872	△ 35,128	参拝啓発ポスター
4 広 報 費	350,000	378,198	28,198	若竹64号/65号作製費及び発送費・HP管理費
5 事 務 費	120,000	140,464	20,464	事務用品・寄付金其の他振替手数料
6 備 品 費	10,000	0	△ 10,000	
7 旅 費	210,000	210,000	0	神青協総会・神青協役員旅費補助
8 慶 弔 費	80,000	34,243	△ 45,757	慶弔金・電報代
9 分 担 費	280,000	268,000	△ 12,000	神青協及び地区協醸出金・各種友好団体年会費
10 交 通 費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑 支 出	10,000	600,000	590,000	特別会計へ繰り入れ
12 予 備 費	30,000	0	△ 30,000	
歳出合計	2,940,000	3,041,944	101,944	

歳入合計 ￥3,829,521 歳出合計 ￥3,041,944 差引残高 ￥787,577

愛媛県神道青年会 会長 十亀 雅史 提出

上記の通り相違ない事を認めます。

平成28年4月13日

監事 清 家 貞 文

監事 田 内 逸 知

愛媛県神道青年会 平成28年度一般会計歳入歳出予算書

自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日

歳入の部

単位：円

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	700,000	700,000	0	年会費・定時総会々費・新年互礼会々費
2 助 成 金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄 付 金	1,300,000	1,300,000	0	県内神職寄付金
4 雑 収 入	6,479	2,423	△ 4,056	預金利子他
5 繰 越 金	733,521	787,577	54,056	平成27年度より
歳入合計	2,940,000	2,990,000	50,000	

歳出の部

単位：円

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会 議 費	700,000	700,000	0	定時総会・役員会・新年互礼会・地区協役員会・監査会・臨時総会他
2 研 修 教 化	900,000	760,000	△ 140,000	親月神楽・慰問神楽・新年研修会・各種研修参加助成他
3 事 業 費	200,000	200,000	0	参拝啓発ポスター頒布事業
4 広 報 費	350,000	400,000	50,000	若竹66号/67号作製費及び発送費・HP管理費
5 事 務 費	120,000	150,000	30,000	事務用品・寄付金其の他振替手数料
6 備 品 費	10,000	10,000	0	
7 旅 費	210,000	320,000	110,000	神青協定時総会・神青協出向役員旅費補助・神青協臨時総会
8 慶 弔 費	80,000	80,000	0	慶弔金・電報代
9 分 担 費	280,000	280,000	0	神青協及び地区協醸出金・各種友好団体年会費
10 交 通 費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑 支 出	10,000	10,000	0	
12 予 備 費	30,000	30,000	0	
歳出合計	2,940,000	2,990,000	50,000	

歳入合計 ￥2,990,000 歳出合計 ￥2,990,000 差引残高 ￥0

愛媛県神道青年会役員会 提出

平成28年4月20日

来年の再発足四十五周年に向けての取り組みも今後行って参ります。
(四十五周年準備委員会については二十頁をご覧ください)

平成二十八年度 活動計画

四月	十三日	平成二十七年会計監査報告会	【東雲神社】
	二十日	第一回 役員会	【国際ホテル松山】
	二十日	第四十五回定時総会	【全】
	二十六日	神道青年全国協議会	
		第六十八回定例総会	
五月	十二日	熊本県	【神社本庁】
	十三日	復興支援活動(第一次)	
	二十五日	第二回 役員会	【熊本県】
六月	二日	神道青年四国地区協議会	【八幡神社】
		第一回 役員会	
	十三日	熊本県	【愛媛県】
	十四日	復興支援活動(第三次)	
七月	二十四日	第三回 役員会	【熊本県】
	一日	会報「若竹・第六十六号」発刊	【吹揚神社】
八月	四日	第四回 役員会	
		神道青年四国地区協議会	
	五日	総会並びに研修会	【徳島県】
	二十九日	神道青年全国協議会	
	三十日	平成二十八年度 夏期セミナー	
九月	八日	神道青年四国地区協議会	【香川県】
		第十九回神道行法錬成会	
	九日	神道青年四国地区協議会	【香川県】
		第二回 役員会	【愛媛県神社庁】
		参拝啓発ポスター発送作業	

十月		第五回 役員会	
		第三十四回観月神楽の夕べ	
十一月	二十五日	第六回 役員会	
		第七回 役員会	
	全	三島森田両烈士追悼慰霊祭	【愛媛県護国神社】
十二月		神道青年四国地区協議会	
		親睦ボウリング大会	
		第三回 役員会	【高知県】
一月	一日	会報「若竹・第六十七号」発刊	【全】
		第八回 役員会	【国際ホテル松山】
		臨時総会・新年研修会・新年互礼会	【全】
二月		第九回 役員会	
三月		第十回 役員会	
	二十二日	神道青年全国協議会	
	二十三日	平成二十八年度 中央研修会	【広島県】
		* (日時未定)	
		慰問神楽	
		研修旅行	
		会員研修会(祭式)	
		中国五県青年神職会・神道青年四国地区協議会合同会	
		広島県青年神職会交流会	

●時局問題への即応
●その他、役員会にて議案審議

今年度も、皆様の連絡担当理事より各事業のご案内をさせていただきます。
ご参加・ご協力の程、宜しくお願い致します。

平成二十七年 助成寄付御芳名

※順不同にて掲載させて頂いております

御助成

金 貳拾萬圓也

愛媛県神社庁 殿

御寄付

【東予】

金 壹拾萬圓也

石鎚神社

武智 正人 殿

金 伍萬圓也

大山祇神社

三島 喜徳 殿

金 四萬圓也

吹揚神社

田窪 久 殿

金 参萬圓也

神社庁

一宮神社

新居 支部 殿

金 壹萬伍仟圓也

石岡神社

越智 基晃 殿

今宮神社

金 壹萬圓也

村山神社

佐藤 伊都男 殿

玉生八幡神社

高尾神社

平田 彰 殿

嘉母神社

三島神社

石川 雅司郎 殿

周敷神社

荒木八幡大神

橋新宮神社

井上 初美 殿

松本 恒夫 殿

高橋 佳幹 殿

三嶋神社
伊曾乃神社

綾延神社

船木神社

高浜八幡神社

三嶋神社

潮早神社

矢矧神社

宇佐八幡神社

千足神社

三島神社

須賀神社

原八幡大神社

別宮大山祇神社

八幡神社

大井八幡大神社

萩岡神社

大西神社

熊野神社

大島八幡神社

白山神社

喜多浦八幡大神社

大浜八幡大神社

多伎神社

姫坂神社

堀江神社

金 伍仟圓也

橘八幡大神社

保内八幡神社

土居神社

堀川 泰規 殿

堀川 修巧 殿

森 正康 殿

牧野 よしみ 殿

龜山 和磨 殿

越智 静治 殿

浅海 宜英 殿

田窪 吉典 殿

松木 正述 殿

烏谷 康恵 殿

馬越 晴通 殿

藤原 豁博 殿

矢野 敬陽 殿

高田 康成 殿

福田 友徳 殿

檜部 浄文 殿

大岡 忠徳 殿

及川 徹也 殿

田邊 捷 殿

矢野 秀綱 殿

大岡 忠臣 殿

馬越 祥穂 殿

桧垣 壮次 殿

沼崎 守文 殿

沼崎 守文 殿

合田 千里 殿

馬越 將文 殿

中島 佳代子 殿

矢野 耕一郎 殿

八幡大神社
八幡宮

碓掛天満宮

奈良原神社

濱上神社

石清水八幡神社

金 参仟圓也

八幡神社

鶴岡八幡神社

金 壹拾萬圓也

伊豫豆比古命神社

金 伍萬圓也

愛媛縣護國神社

金 参萬圓也

神社庁

金 貳萬九仟圓也

神社庁

金 貳萬六仟圓也

早虎神社

金 貳萬圓也

伊豫稻荷神社

嚴島神社

金 壹萬圓也

生石八幡神社

三嶋大明神社

桑原八幡神社

忽那島八幡宮

金刀比羅神社

安藤 史典 殿

合田 正士 殿

小池 清史 殿

竹之内紀久江 殿

宮本 基 殿

芥川 亮 殿

竹内 啓 殿

矢野 徳光 殿

長曾我部延昭 殿

額田 照彦 殿

松山 支部 殿

伊予 支部 殿

立野 好仁 殿

星野 暢廣 殿

柳原 宰 殿

中西 祐司 殿

大内 正人 殿

石丸 剛司 殿

大宮 信篤 殿

大谷 伸二 殿

青年会活動に御理解戴き、過分なる御厚意を頂戴致しましたこと、
重ねて厚く御礼申し上げます。役員・会員一同

國津比古命神社 五柱神社 正八幡神社 雄郡神社 波賀部神社 湊三嶋大明神社 井手神社 高繩神社 三島神社 還熊八幡神社 勝岡八幡神社 客王神社 日吉神社 高忍日賣神社 神社庁 日尾八幡神社 金、伍阡圓也 天満神社 正八幡神社 神社庁 徳威三嶋宮 金刀比羅神社 三島神社 高家八幡神社 諸山積神社 若宮八幡神社 天一稻荷神社 阿沼美神社 三島神社 築島神社	井上忠史殿 森東洋司殿 重松讓殿 高市誠司殿 武智彰宏殿 渡部定詔殿 横田貞子殿 玉井利明殿 高市誠殿 玉井次明殿 武智輝子殿 二神良昌殿 都子野清彦殿 後藤正宜殿 久万支部殿 三輪田純殿 武智成保殿 権名津卓久殿 東温支部殿 別府頼房殿 山下幸志殿 芥川幹殿 都子野清明殿 武智佳子殿 三好捷三殿 武智純二殿 大内將通殿 玉井貞臣殿 渡部正己殿	廣田神社 櫛玉比賣命神社 當田八幡神社 八坂神社 立石神社 新田神社 新田八幡神社 三島神社 伊曾能神社 金、參阡圓也 三嶋神社 天満神社 三島神社 素鷲神社 三島神社 武智盛明殿 井上貞人殿 額田照彦殿 都築芳憲殿 都築芳憲殿 都築芳憲殿 高市俊次殿 武市盛幸殿 岡山正文殿 新藤昭重殿 武智仁志殿 水地明彦殿 横田武敏殿 三輪田泰生殿 宇和支部殿 常磐井守興殿 伊達亨朝殿 田中平之殿 八西支部八幡浜分会殿 金、壹萬圓也 神社庁 三嶋神社 八幡神社	大元神社 總社大明神社 三柱神社 八幡神社 三島神社 三島神社 龍王神社 八幡神社 金、八阡圓也 神明神社 金、伍阡圓也 賀茂神社 明間神社 三島神社 岡森神社 太郎大明神社 春日神社 天満神社 三島神社 天満神社 諏訪神社 黄幡神社 金、參阡圓也 蔵王神社 稻荷神社 湯嶋天神社 井上正博殿 森本隆夫殿 梅川俊一殿 常磐井守道殿 吉田充邦殿 一宮康人殿 今城速人殿 阿部康茂殿 宮本勝弘殿 上甲一則殿 梅原康孝殿 菊地宣之殿 寺谷秀彦殿 佐々木文雄殿 宮田昭殿 岡本荒侍殿 三瀬高徳殿 宮本稚秋殿 石村聖殿 青木武司殿 大川祥次殿 野島節夫殿 菊池國興殿	愛媛県神社庁殿
--	---	---	--	---------

神社庁 伊豫豆比古命神社 松山 支部 殿	金 壹萬圓也	愛媛県女子神職会 常磐井 守道 殿	愛媛県護國神社終戦記念日祭奉仕御礼 金 伍萬圓也 愛媛県護國神社 殿	第三十三回観月神楽の夕べ 御 祝 金 壹萬圓也 愛媛県神社庁 殿	三島森田両烈士追悼四十五周年慰霊祭玉串料 金 壹萬圓也 神道政治連盟愛媛県本部 殿	愛媛祖國と青年の会 越智 敏雄 殿	金 参阡圓也 御 稿 こずえ 殿	金 壹阡圓也 青井 美智子 殿	新年互礼会 御 祝 金 貳萬圓也
----------------------------	--------	----------------------	--	--	---	----------------------	---------------------	--------------------	---------------------

八幡神社 石鎚神社 金 壹萬圓也	清家 貞宏 殿	愛媛県神社庁 松山 支部 殿	伊豫豆比古命神社 綾延神社 早虎神社 和霊神社 伊豫豆比古命神社 湊三嶋大明神社 周敷神社 伊豫豆比古命神社 朝日八幡神社 櫛玉比賣命神社 伊豫豆比古命神社 金 伍阡圓也	長曾我部昭一郎 殿	渡部 定詔 殿	井上 初美 殿	眞鍋 豊孝 殿	田内 一弘 殿	井上 貞人 殿	後藤 雅彦 殿	愛媛県女子神職会 殿	御賛同の上御寄付を賜り深謝致します 会長 十亀 雅史
------------------------	---------	-------------------	--	-----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	------------	-------------------------------

愛媛神青ブログ通信

拉致被害者救出パレード参加報告

平成二十七年十二月十九日、拉致被害者救出パレードに寒空の下、参加してまいりました。

救う会愛媛会長中矢民三郎氏をはじめ、愛媛県拉致協議連・大政由美さん伊予市連絡会等総勢六十名ほどで坊ちゃん広場にて出発式を行い、銀天街から大街道までパレードし、一番町口にて署名活動を行いました。

愛媛県神道青年会からは十亀会長以下五名が参加し、今回は愛媛県イメージアップキャラクターの『みきゃん』も参加しました。

私は、今回初めての参加でしたが、多くの会員にも参加していただき、時局問題にも関心を寄せてもらえたいと思います。

最後に、一日も早い拉致被害者の日本帰国を祈念申し上げます。

《理事 渡邊 平》



趣味人

第五回

〜神青会員こだわりの逸品〜



川上神社(東温市)
欄宜 野口 秀文さん

神青会員の多彩な趣味を紹介するこのコーナー。今回紹介するのは、川上神社欄宜の野口秀文さん。学生時代から万年筆を愛好しており、万年筆選びにもこだわりのあるのだそう。そこで、万年筆の楽しみ方を聞いてみた。

「万年筆の事を語り出すと、手短には言い表せませんよ。」

そう言っ万年筆について熱心に語ってくれた野口さん。野口さんが愛好する万年筆を見せていただきながら、万年筆とは縁遠い私にこれから教えていただいた。

「僕は万年筆をコレクションするのではありません。コレがいい」という



実際に書きながら万年筆の魅力を教えてくれる野口さん

「ペン先が紙に触れてさえいればインクの出る万年筆が好きなのです」

良い。書き味、があるのも

ものを長く使い続けたいのです。」

野口さんにとって万年筆はコレクションするためのものではなく、あくまで使うためのものとして、こだわりのもつて選び、大事に使っている。ちなみに、万年筆選びの要素は、軸の大きさやデザイン、インクの吸入機構、ペン先の材質だそう。

万年筆を使うきっかけは大学一年生の時。定期試験の際に、解答には黒または青のインクを用いなければならなかった。そこで神戸・三宮にある大規模な文具店に行った。一フロアすべて万年筆のコーナーで、そこで買った一本、フランス・ウォーターマンの万年筆が始まり。

野口さんにとって万年筆との出会いは大きかったようだ。以来、試験の時に限らず、

大学時代から日常的に筆記具は万年筆を使用し、手入れも欠かさない。現在でも万年筆の調整士さんが全国を回ってイベントを行っている、その機会にペン先を削ってもらうなどし、自分が納得できる万年筆にカスタマイズしている。

「手書きするときは大抵万年筆です。あるいはサインペン。筆圧をかけずに書きたいので、ペン先が紙に触れてさえいればインクの出る万年筆が好きなのです。」
そして野口さんが大切に使っている万年

筆の中でも、特に愛用しているものを紹介してもらった。

「現在一番使っているのはペリカン(ドイツのメーカー)のM400(写真一番右)とM200(写真右から二番目)です。十年來のつきあいで、オーセンティックな、いかにも万年筆らしい、でしゃばったところのない様子が気に入っています。また、クリップの形に愛敬



野口さんが特に気に入っている万年筆。中でも一番のお気に入り、写真一番右の「ペリカン M400」。

大きさ、デザイン：野口さんお気に入りの逸品である。

「万年筆は書き味もさることながら、自分の生き方、考え方とマッチしているように思うのです。」

野口さんの万年筆に対する思いは尽きない。最後に野口さんは誘ってくれた。

「万年筆始めてみませんか？」

万年筆の奥深さが伝わり、私も久しぶりに万年筆を持つてみようと思った。

《取材 後藤 正幸》

青年会御卒業

定時総会に於いて、会則により卒会の年を迎えられました先輩方をご紹介いたします。

八幡神社 宮 司(元 理事)

渡部 太輔 様

石鎚神社 権欄宜(元 理事)

山崎 浩司 様

天満神社 宮 司

薬師神 敬篤 様

石拆神社 欄 宜

馬越 和紀 様

永年に亘り当会の活動にご尽力賜りまして誠に有り難う御座いました。会員一同感謝申し上げます。

今後尚一層のご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に益々のご活躍をご祈念申し上げます。

新入会員紹介

石鎚神社 権欄宜 勝本 貴大

昭和六十二年十月十四日生



この度、石鎚神社にご縁をいただき平成二十七年十二月一日付で出仕として奉職し、本年一月十五日付で権

欄宜を拝命いたしました。生れ故郷であります愛媛県に御縁を頂いたことに感謝しつつ、日々神明奉仕をさせて頂いております。今後、神職として、青年会員として微力ではございますが精一杯務めて参りますので、御指導御鞭撻の程よろしくお願い致します。

石鎚神社 権欄宜 曾我部 洋輔

昭和六十年十二月五日生



本年四月一日に兵庫県神戸市の湊川神社より転任し、石鎚神社に奉職させて頂いております。不束者ではございますが、何卒宜しくお願いいたします。

網敷天満神社 宮司 菅 利之

平成四年五月十七日生



今春東京より帰郷し、宮司として奉職させて頂くことになりました。

浅学非才の身にして未だその器ではございませんが、誠心誠意この重責を全うする覚悟でございます。神職として、また社会人としての経験不足から、至らぬ点が多々あるかと思っておりますが、御指導御鞭撻を賜りますよう宜しくお願いいたします。

神道青年四国地区協議会 行事案内

○第二十二回定例総会・研修会

平成二十八年八月四日(木・友引)

五日(金・先負)

於 ホテルクレメント徳島

○第十九回神道行法錬成会

平成二十八年九月八日(木・先負)

於 八幡神社(香川県丸亀市手島鎮座)

詳細につきましては、HP等にもお知らせしております。奮ってご参加ください。

愛媛県神道青年会再発足四十五周年準備委員会について

愛媛県神道青年会は、来年度(平成二十九年度)に再発足四十五周年の佳節を迎えます。周年を迎えるに当たり、今年度より諸事業の準備を行う必要があります。さらには来年には役員改選があること等を鑑み、第四十五回定時総会での承認を経て、この度「再発足四十五周年準備委員会」を立ち上げることとなりました。

委員長に柳原筆頭副会長、副委員長に善家、田窪両副会長、事務局長には矢野理事が就任し、下記の通り委員が選出されましたのでご報告致します。

準備委員会の活動は今年度のみで、周年にあたる来年度は、次期役員が引き継ぎ、実行に移して行きます。

五月二十九日には第一回の委員会を開催し、今後準備委員会が中心となって周年事業等の準備にあたって参ります。皆様のご協力なくして各事業を成し遂げることはできません。今後ともご理解ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

再発足四十五周年準備委員会メンバー紹介

委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	事務局長	副委員長	副委員長	委員長	委員会役職
小笠原 義直	佐藤 肇国	野口 貴令	野口 秀文	柳原 康尚	湊 和樹	井上 雅仁	大岡 宜徳	進藤 雄作	那須 重昭	武智 和剛	後藤 正幸	矢野 忠臣	田窪 大朗	善家 祐二	柳原 永祥	氏 名
会員	会員	会員	会員	会員	会員	会員	会員	理事	理事	理事	理事	理事	副会長・事務局長	副会長	副会長	愛媛神青役職
伊豫豆比古命神社／権禰宜	三島神社／禰宜	伊佐爾波神社／禰宜	川上神社／禰宜	河崎神社／宮司	石鎚神社／権禰宜	大元神社／禰宜	白山神社／禰宜	野坂神社／宮司	白王神社／禰宜	徳川神社／禰宜	高忍日賣神社／禰宜	浦渡神社／禰宜	吹揚神社／禰宜	龍王神社／権禰宜	嚴島神社／禰宜	奉務神社／職名
中予	中予	中予	中予	中予	東予	南予	東予	南予	南予	中予	中予	東予	東予	南予	中予	地区

